

神奈川県立柏陽高等学校
平成 27 年度 不祥事ゼロプログラムの実施結果

I プログラムの策定状況

(1) プログラム策定の体制について

前年度の実施結果をもとに、全体で議論し、不祥事ゼロプログラムを策定した。

(2) 課題とした項目

「平成 27 度 教育委員会不祥事ゼロプログラム作成方針」における基本 9 項目を課題とした。

- ①法令遵守意識の向上（校務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）
- ②わいせつ・セクハラ行為の防止
- ③体罰、不適切な指導の防止
- ④成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止
- ⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）
- ⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- ⑦業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）
- ⑧会計事務等の適正執行
- ⑨入学者選抜に係る事故防止

II 実施結果等

(1) プログラムの実施と結果

- 教育委員会不祥事防止啓発資料や、不祥事・事故等の報道記事を全職員に周知し、不祥事防止の意識を高めることができた。
- 職員会議時に、「不祥事防止研修」を行い、管理職または各センター主導で必要な研修を行い、全職員に注意喚起と事故防止を呼び掛けるとともに、実際に事故を起こさないための方法やマニュアルを紹介し、未然に事故・不祥事を防止することに役立った。

(2) 本校で認識している課題や今後実施すべき対策

不祥事防止のために組織として管理すべき事項と研修すべき事項を明確にして取り組む必要がある。私費会計や個人情報管理に関する研修は毎年定期的に行われなければいけない。また、校内業務の点検および研修を一つひとつ確実に実施していくことも必要である。

III 不祥事防止研修会の実施状況等

(1) 不祥事防止研修会の実施について

- 原則として、職員会議前に不祥事防止研修会を設定して実施した。
実施回数 延べ 13 回、受講人数（各会 約 50 名）
- 7 月に教育センター職員を講師とし、グループ協議を取り入れた不祥事防止研修会を実施した。

(2) 研修会の主なテーマと内容・実施時期

全般 5 月（管理運営センター）

平成 27 年度柏陽高等学校不祥事ゼロプログラムについて説明し、職員の事故・不祥事防止の意識高揚に努めるとともに年間行動計画に基づき、研修を実施することを確認した。

①法令遵守意識の向上（校務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）

4 月 1 日（教頭）

服務規程全般について説明し、綱紀保持の徹底を図った。

勤務整理簿及び特勤整理簿の取り扱い、整理について説明し、確認した。

6 月 29 日（生活支援）

「平成 27 年度応急手当研修講座」伝達講習を生活支援センターが行い、全職員が受講した。

10 月 8 日（生活支援）

クレーム対応について、啓発資料を用いて説明し、適切な対応をするよう全職員で確認した。

1月14日（教頭）

公務外非行防止について、教育委員会作成の職員啓発資料を用いて注意喚起した。

②わいせつ・セクハラ行為の防止

7月6日（管理運営）

教育センター職員を講師とし、SNSやスマートフォン等の事例説明を受けるとともに、コミュニケーションのとり方、適切な指導についてグループ協議を取り入れた研修会を実施した。

10月8日（教頭）

教育実習生に対する適切な指導について、資料を用いて周知徹底した。

1月7日（生活支援）

啓発資料「STOP！ザ・セクシャル・ハラスメント」を読み、基本的な考え方を共有した。

また、体罰・セクハラアンケート調査を行うことにもふれ、意識啓発を

③体罰、不適切な指導の防止

7月13日（活動支援）

「部活動指導に関する事故防止」について、啓発資料をもとに、点検確認した。

④成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止

5月26日（教頭）

中間テストに際し、教務手帳・答案の管理、成績処理、電子媒体の管理徹底を図るよう注意喚起を行った。

5月26日（学習支援）

生徒指導要録について、現3年生から記載方法記載方法の変更がある旨を全体で確認した。

9月17日（校長）

成績処理について、点検の徹底を指導した。

9月17日（学習支援）

成績処理について、通知表配付に際し、配付まで点検の徹底を図るよう注意喚起した。

11月12日（学習支援）

テスト作成・採点・転記における事故防止及び個人情報等校外持ち出し許可願提出の周知徹底及び、チェックリストを活用してミスを防ぐよう注意喚起し、全職員で確認した。

12月17日（校長）

調査書や推薦書の発行について事故防止に努めるよう指導した。

12月17日（学習支援）

調査書発行における事故防止・個人情報の取り扱いについて、説明し、調査書や推薦書の発行に関して注意喚起した。

3月22日（校長）

要録作成における事故防止について、指導した。

3月22日（学習支援）

成績処理支援システムの適切な運用について説明があり要録作成における事故防止について注意喚起した。

⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

5月26日（教頭）

個人情報の取り扱いについて、「教育委員会における個人情報に係る漏洩等対策要綱」等の資料を用いて、個人情報の管理徹底を図るよう注意喚起を行った。

10月26日（月）（キャリア開発）

進路指導における個人情報管理について、資料を用いて説明し、適切な指導を確認した。

⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

12月17日（校長）

飲酒運転防止の周知徹底について、酒気帯び運転、飲酒運転及び通勤届けと異なる経路での通勤について説明し、指導した。

⑦業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

10月26日（キャリア開発）

進路指導において、適切な指導を確認するとともに、近年の受験システムの変化に教員が対応できるよう情報共有を行った。

⑧会計事務等の適正執行

6月11日（企画連携）

私費会計について、学校徴収金運営協議会、授業料徴収システム及び予算執行・支出伝票の書き方について企画連携センターが説明し、特に現金の扱いについては管理の徹底を図るよう確認した。

1月14日（活動支援）

部活動費、部費の適正な管理について、資料を用いて全職員で確認した。

2月4日（企画連携）

年度末の会計処理について、想定される事故を未然に防ぐ対策について説明があり、全職員の注意を促した。

2月4日（事務長）

利息の計上についての注意があり、全職員の注意を促した。

2月4日（副校長）

立替払いについて説明し、適切に行うよう指示した。

⑨入学者選抜に係る事故防止

1月7日（入選委員会）

入選実施要綱について説明し、事故防止のために組織としてすべきことを確認した。